



2008年4月 日発行
NPO法人
湘南ふくしネットワークオンブズマン
「成年後見支援センターだより」
編集責任者 高山直樹
〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-48
ワラシナビル5階
電話・FAX 0467-85-6660



茅ヶ崎市との市民提案型協働推進事業

成年後見支援センター がオープンしました

相談・支援

成年後見制度利用にかかわる相談を受け、一人ひとりにあつた支援をともに考えます。(無料)

出前ミニ講座

お呼びくだされば、どこへでも、小さな集まりでも出張し、成年後見制度についてお話しさせていただきます。

住所: 茅ヶ崎市新栄町 13 - 48

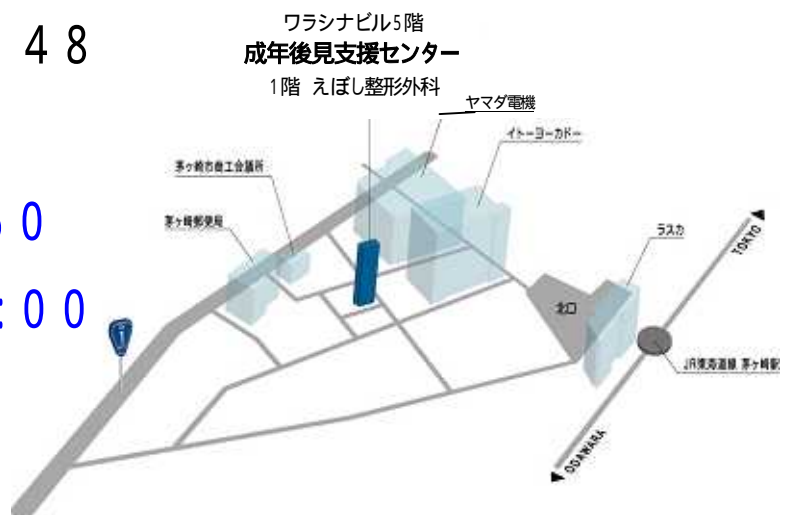
ワラシナビル 5階

電話: 0467 - 85 - 6660

月・水・金の10:00 ~ 17:00

(祝祭日はお休み)

お気軽にお越しください!





[成年後見支援センター開所まで]

NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマンは、10年にわたり、湘南の地で「自分らしく生きるための願いである“WISH”」を尊重するオンブズマン活動を中心とした権利擁護活動を展開してきました。

その活動の中で、施設に入居あるいは、通所されている方、ご家族、職員等から成年後見に関わる相談を受け、成年後見制度の内容や後見をすることの意味をもっと知っていただきたいと感じることが多くありました。さらに制度の利用のあるなしに関わらず、その人らしい生活を支えるためには地域でのネットワークが必要と感じました。

また、茅ヶ崎市から依頼された成年後見を法人として受任し、その業務を行うなかでも、様々な福祉サービスのネットワークが必要であると痛感しました。

そのようなことから、3年ほど前から、法人として、より一層の権利擁護を進めるために「成年後見支援センター」設立に向けての議論がなされてきました。

そうしたおり、2007年度に茅ヶ崎市が新たに第一回の市民提案型協働推進事業を公募することを知り、地域に密着し行政とも協働できるということで「市民による市民のための成年後見支援センター事業」というテーマで応募することを決めました。

その後「設立趣意書」「企画書」の検討、新たな事務所探し、市の担当課との話し合い、一次審査、二次審査、プレゼンテーションなどの過程を経て茅ヶ崎市と「協定書」を結び、2008年4月2日に開所いたしました。



～後見人日誌より～

被後見人のAさんは、介護度5でご自分の名前もわかりません。

後見人は年に何回か財産管理の状況をお伝えするため、預金通帳を持参して見ていただき、残高についての説明をしています。

今回は、たまたま引き出したばかりの小口現金が8万円ほどあったので、Aさんの手に乗せたところ、「うわっ!」と大きな声をだされ、満面の笑みを浮かべ、Vサインをされました。

一人暮らしの生活が長く、葬儀費用を心配して、互助会にも入っていたAさん。きっと言葉に出す事はなかったのですが、自分の残されたお金のことが、気になっていたはずです。預金通帳の小さな数字を認識する事は難しいことですが、手にした現金の感触は瞬時にして理解できるものだと言われました。

こんな相談も

～叔父さんの後見人をされている
Bさんより～

施設に入っている叔父を訪問していて、お気に入りの衣類がなくなっていることがたびたびあって気になっています。職員はいつも「クリーニング中」と言っています。あまり度重なるので、「きちんとして欲しい」と施設長に言いたいのですが、後見人として言ってもよいものでしょうか？

